

日々 往来

岡本 敏男



7月下旬に
日本銀行鳥取
事務所へ赴任
しました。私
は隣県の神戸

市の出身です。子供の頃から、鳥取砂丘や浦富海岸、大山に観光で訪れたり、梨やスイカなど鳥取産の季節のおいしい食べ物に親しんだほか、小学校の運動会では鳥取出身の先生のご指導で貝殻節を踊ったことがあるなど、当地にはさまざまな懐かしい思い出があります。

鳥取の皆さま、はじめまして

鳥取事務所は今年で75年を迎え、解促進に努めています。

えませんが、日本銀行について「存在は知っているが、何をしているところかよく分からない」といってお声をいただくことがあり、その役割をひとりで話すと、人々が安心して「お金＝円」を使うことができるようにする、ということ。金融政策による「お金の価値である「物価の安定」を実現し、金融機関預金を通じたお金のやりとりが日々安全、円滑に行われることを含めた「金融システムの安定」を維持し、日本銀行券（現金）の発行や流通を管理しています。鳥取事務所では、当地での日本銀行券の円滑な流通の確保とともに、関係機関や地元の方々との情報交流を通じて地域の実情把握と中央銀行業務への理

解促進に努めています。新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、県内でも飲食・宿泊業をはじめ幅広い業種に影響が広がっており、経済活動は大きな打撃を受けています。感染症拡大にいつの間にか不安な状況が続いてい

鳥取についてまだまだ知らないことばかりの私ですが、多くの方々に教を乞い意見を交わしながら、当地で日本銀行のミッションを果たしていくようしっかりと取り組む所存です。皆さまのご協力をお願いいたします。（日本銀行鳥取事務所長）